



「防窮訓練」 について

2021年11月24日

東京大学未来ビジョン研究センター
客員研究員

環太平洋大学講師

白取耕一郎

コロナを踏まえ、マルチセクターによる包摂研究会を設立

課題認識

- ✓ 格差が拡大し差別が加速する「**分断の世紀**」
 - ・ コロナによる貧困拡大に加え、職場と家庭の融合による虐待の深刻化、介護難、孤立等が急拡大
- ✓ ニューノーマルを見据えたグレートリセットに向けて、**新たなライフスタイルを突き詰めた上でのワークスタイルの再定義・社会実装は不可欠**

コロナパンデミックの影響

ウイルスによる健康被害
世界人口1億人感染(WHO)

失業による貧困拡大
・ 労働人口の半分以上が失業
・ 経済損失10Tの恐れ(ILO)

**職場と家庭の混在による
ライフスタイルの激変**
・ 世界各地でロックダウンにより
リモートワークが強制化

包摂研究会

- ✓ マルチセクターが連携し金融包摂や就労支援の新たな在り方を見つめ直し、実証実験や政策提言を実施



「防窮訓練」プログラムの開発

- 現状の問題点
 - 若者の少ない割合が生活保護などの知識がない
 - 「生活保護」という用語を知らない者も一定程度いる
 - → 貧困におちいりそう、あるいはおちいったときの備えがない、「予防なき治療」になっていないか？
- 防災訓練があるなら、防窮訓練があってもよいのではないか？
 - 防災訓練 = 災害に遭遇しても命を守る
 - **防窮訓練** = 貧困におちいっても命を守る

どうやって貧困におちいったときに命を守れるようにするのか？

- 「防窮訓練」の所要時間は50分程度とし、参加者が能動的に関わるアクティブラーニング形式とする
- 例) 自分にあった支援制度を探せるシステム“**Civichat**”の活用
 - LINEなどから簡単に利用できる
 - チャットボットとやり取りしながら制度が探せる
 - 訓練後もLINEに残せばいざ困窮したときに使える（お守り代わり）
 - ※代表取締役社長の高木氏とは合意済み



「防窮訓練」プログラムのイメージ

累積時間	所要時間	
0:00	5:00	導入、目的の説明、事前アンケートフォーム記入→結果共有
5:00	10:00	動画視聴、ニュース紹介
15:00	10:00	配られたカードになりきって支援制度をネット検索→同じカードの人（近くにいる）と結果共有
25:00	10:00	Civichatを導入し、同じように制度を探す
35:00	10:00	ディスカッション（探し方による違い、どういう探し方があったらよい？ そのために自分はどう行動していく？）
45:00	5:00	事後アンケートフォーム記入→結果共有、まとめ

防窮訓練プログラム

ver211114

災害から命を守る**防災訓練**

「地震です、地震です」



全国の学校や企業で実施

貧困から命を守るのは……？？

「大変です、お金がありません」



……無防備になりがち

ここでアンケートです！

- <https://forms.gle/PSc5QvbJ5m6pQ7z69>



まずは、動画を見てみましょう

[ハートネットTV] 今、生活保護を必要とする人へ | みんなの生活保護! | NHK
https://www.youtube.com/watch?v=adlA_FfngbU

若者を取り巻く貧困問題

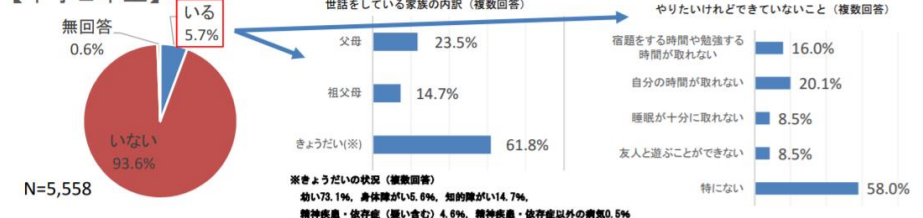
総務省の労働力調査（2020年平均）によると、**15歳～34歳の26%が非正規雇用・完全失業・無業者のいずれかに該当しており、若者を取り巻く経済環境は、一層過酷なものとなっている。**
 こうした社会背景の下、**通学や仕事のかたわら、家事や家族の世話（介護や身体的・精神的なケア、身の回りの世話など）などを若者が担う「ヤングケアラー」が社会問題化している。**

ヤングケアラーの実態に関する調査研究のポイント①

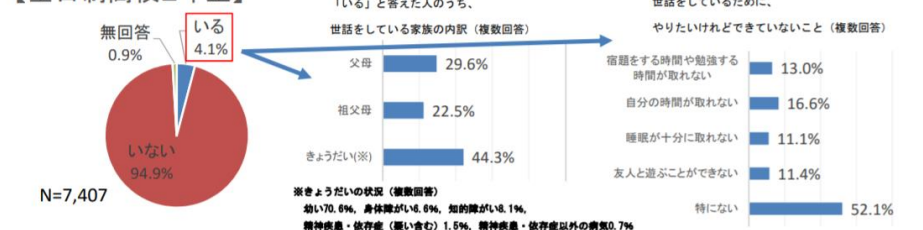
「ヤングケアラーと思われる子ども」の実態をより正確に把握するため、文部科学省と連携し、教育現場である学校や要保護児童対策地域協議会、全国の中・高校生に対して、実態調査を実施。

○ 世話をしている家族が「いる」と回答したのは、中学2年生が5.7%、全日制高校2年生は4.1%

【中学2年生】



【全日制高校2年生】

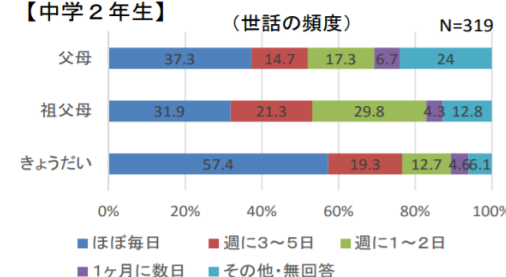


「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」（令和3年3月） 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

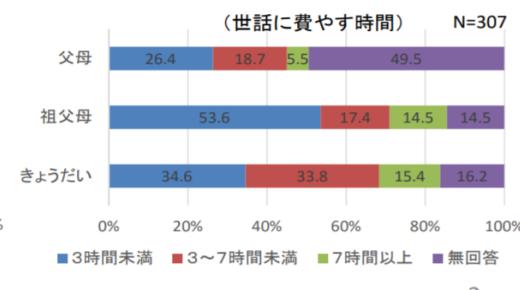
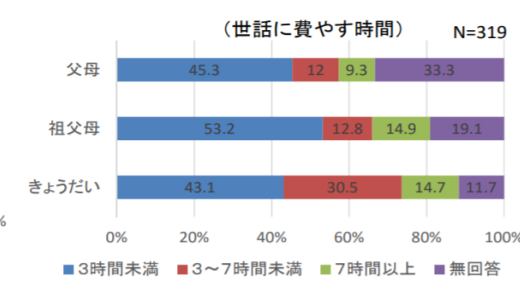
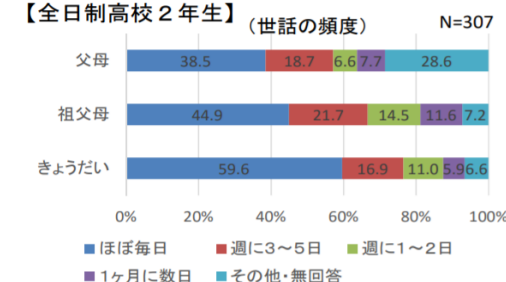
ヤングケアラーの実態に関する調査研究のポイント③

- 世話の頻度について、「ほぼ毎日」が3～6割程度となっている。
- 平日1日あたり世話に費やす時間について、「3時間未満」が多いが、「7時間以上」も1割程度いる。

【中学2年生】



【全日制高校2年生】



「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」（令和3年3月） 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

支援制度を知らなかったがゆえに起きた悲劇

ニュース > 社会

「つらい役を任せてごめんね」...困窮の果て、生活保護を知らない長男は母の最後の願いに応えた

2021/10/25 14:29 新型コロナ

この記事をスクラップする



経済的に困窮し、自分を殺してほしいと頼む母親の首を絞めて殺害したとして、嘱託殺人罪に問われた愛知県あま市、無職尾崎京介被告（26）に対し、名古屋地裁は15日、懲役3年、保護観察付き執行猶予5年（求刑・懲役4年）の有罪判決を言い渡した。被告は生活保護などの支援制度を知らないまま追い込まれ、深刻な結果を招いた。



名古屋地裁

判決などによると、尾崎被告は8月5日、自宅で、同居する母親（当時50歳）に頼まれ、頭にビニール袋をかぶせ、両手で首を絞めて殺害した。

中学生の頃、両親が離婚。母親は無職で病気を患っており、尾崎被告と一緒に暮らす弟とともに家計を支えていた。しかし、尾崎被告は昨年2月頃、新型コロナウイルスの影響もあり、勤務先を解雇された。

- 経済的に困窮し、自分を殺してほしいと頼む母親の首を絞めて殺害
- 生活保護などの支援制度を知らないまま追い込まれ、深刻な結果を招いた。
- 昨年2月頃、新型コロナウイルスの影響もあり、勤務先を解雇された。
- 祖父からの仕送りや弟の収入などで何とかやり繰りしたが、アメをなめて飢えをしのぐこともあった。そのうち母親は「これ以上、生きている意味はない」などと口にするようになった。
- 事件の数日前から母親は自殺未遂を繰り返し、「殺して」と懇願するように。そんな母親を見ていられず、弟を外出させると、「こんなつらい役、任せてごめんね」「出来の悪い親でごめんね」と謝る母親を手につけ、自ら110番した。
- 失業保険や生活保護などの制度を知らず、誰かに相談することもなかった。

[出典]読売新聞オンライン「「つらい役を任せてごめんね」...困窮の果て、生活保護を知らない長男は母の最後の願いに応えた」

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20211024-OYT1T50170/>

日本の社会保障制度の概要

日本の社会保障制度は①社会保険、②社会福祉、③公的扶助、④保健医療・公衆衛生によって構成されている。

社会保障制度とは

社会保障制度は、国民の「安心」や生活の「安定」を支えるセーフティネット。
社会保険、社会福祉、公的扶助、保健医療・公衆衛生からなり、人々の生活を生涯にわたって支えるものである。

① 社会保険(年金・医療・介護)

国民が病気、けが、出産、死亡、老齢、障害、失業など生活の困難をもたらすいろいろな事故(保険事故)に遭遇した場合に一定の給付を行い、その生活の安定を図ることを目的とした強制加入の保険制度

- 病気やけがをした場合に誰もが安心して医療にかかることのできる医療保険
- 老齢・障害・死亡等に伴う稼働所得の減少を補填し、高齢者、障害者及び遺族の生活を所得面から保障する年金制度
- 加齢に伴い要介護状態となった者を社会全体で支える介護保険 など

② 社会福祉

障害者、母子家庭など社会生活をする上で様々なハンディキャップを負っている国民が、そのハンディキャップを克服して、安心して社会生活を営めるよう、公的な支援を行う制度

- 高齢者、障害者等が円滑に社会生活を営むことができるよう、在宅サービス、施設サービスを提供する社会福祉
- 児童の健全育成や子育てを支援する児童福祉 など

③ 公的扶助

生活に困窮する国民に対して、最低限度の生活を保障し、自立を助けようとする制度

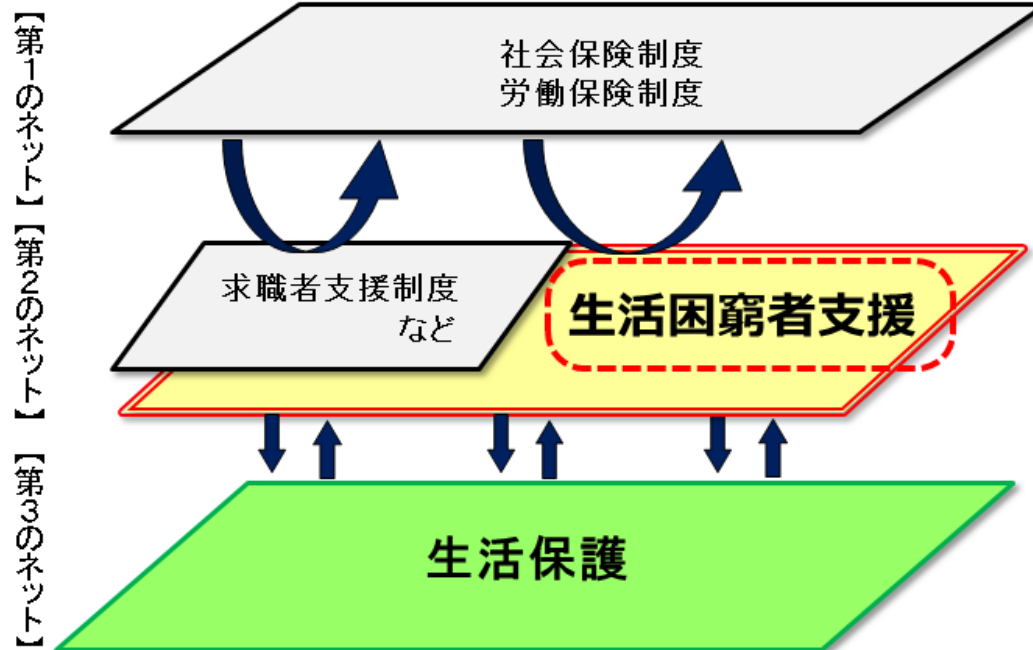
- 健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長する生活保護制度

④ 保健医療・公衆衛生

国民が健康に生活できるよう様々な事項についての予防、衛生のための制度

- 医師その他の医療従事者や病院などが提供する医療サービス
- 疾病予防、健康づくりなどの保健事業
- 母性の健康を保持、増進するとともに、心身ともに健全な児童の出生と育成を増進するための母子保健
- 食品や医薬品の安全性を確保する公衆衛生 など

※これらの分類については、昭和25年及び昭和37年の社会保障制度審議会の勧告に沿った分類に基づいている。



【出典】厚生労働省社会・援護局地域福祉課 生活困窮者自立支援室
「生活困窮者自立支援制度について」

https://www.maff.go.jp/primaff/koho/seminar/2016/attach/pdf/170214_08.pdf

【出典】厚生労働省HP <https://www.mhlw.go.jp/seisaku/21.html>

日本の社会福祉行政の課題

日本の社会福祉サービスには、①多くの場合、サービスの受給にあたっては受給資格者による申請がない限りは給付がされず（申請主義）、②複合的な課題を抱えている場合、提供されるサービスが複数の部門に分かれてしまっている（縦割行政）。受給資格者は、そもそも自分が受けられる行政サービスを把握することができず、また、相談しても複数の部門にたらい回しに合ってしまうことがある。

福祉現場での支援

対象者が相談（利用）に来ることを待ち、そこから支援がはじまることが多い【申請主義】



- ・親の介護が大変なので施設に入りたい
- ・職場を解雇され、生活費に困っている
- ・配偶者に暴力を受けている

etc...

「相談窓口に来ることができる人」にしか、支援を届けることができないという**限界**がある

支援が届かない人

様々な要因により、相談窓口に来ることができず、支援を届けることができない人たち



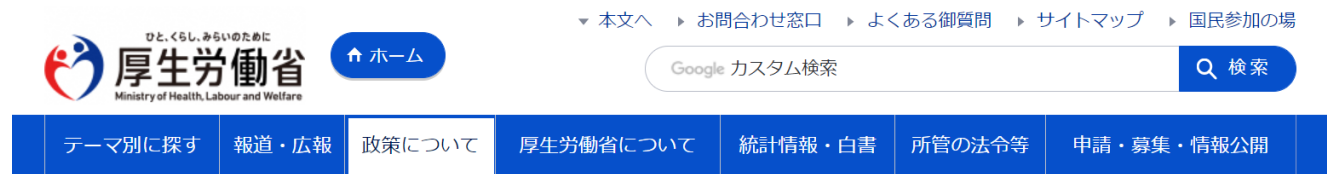
- ・必要な情報にアクセスできない（能力的に困難、機会を奪われている）ために、自らが必要とする支援を受けるための行動を起こすことができない
- ・支援を求めることが能力的に困難
- ・支援を求める能力が一時的に低下している
- ・支援を受けることに心理的ハードルを感じている
- ・問題が複雑多層過ぎて、自分でも何をどうすればよいか分からない状況にある
- ・身の回りに頼れる家族友人がいない
- ・疲れ困り果て、誰かに助けを求めることさえできない

[出典]「社会福祉制度は『申請主義の終焉』を夢見るか」
<https://note.com/wish0517/n/n5e56870f6669>

生活保護は「恥ずかしい」？

生活保護の申請・受給にあたり、生活保護受給者は「自分は自力で生活できず社会に依存している」という「屈辱感」や「不名誉感」、「後ろめたさ」のような感情（スティグマ）を負わされることになってしまう。

厚生労働省は生活保護を「**国民の権利**」と明言している



生活保護を申請したい方へ

生活保護の申請は国民の権利です。
生活保護を必要とする可能性はどなたにもあるものですので、
ためらわずにご相談ください。

⇒相談先はお住まいの自治体の福祉事務所までご連絡ください。

▶ [PDF 福祉事務所一覧【.xlsx形式】](#)



こんなときどうしますか？

(インターネット検索)

- あなた（28歳）
 - 岡山県岡山市在住
 - あなたは2カ月前に失業
 - 乏しい貯蓄で生きている
 - 食べ物を買うにも困っている
 - 仕事を探しているが見つからない
- 何か受けられる支援はないでしょうか？？



結果共有

- 同じカードで制度を探した人と成果を話し合ってみましょう



Civichatを使ってみましょう！！

- 自分にあった支援制度を探せるシステム“**Civichat**”
 - LINEなどから簡単に利用できる
 - チャットボットとやり取りしながら制度が探せる
 - 訓練後もLINEに残せばいざ困窮したときに使える（お守り代わり）
- 参考）内閣官房孤独・孤立対策室HP
 - <https://notalone-cas.go.jp/search/>



ディスカッション

- 先ほどと同じグループで次のことを話してみましょう
- ①探し方による違いは？
- ②どういう探し方があったらよい？
- ③これから自分はどう行動していく？



まとめ

- お金や食べ物が手元になくなくても助かる方法はある
- 公的支援を利用するのは国民の権利
 - 民間支援団体の支援もあります！
- 将来困窮したとき……たとえばCivichatを使ってみて！



もう一度アンケートです！

- <https://forms.gle/PSc5QvbJ5m6pQ7z69>

